

Smiles

新学習指導要領に向けて

- ◆ 移行期間の指導の枠組み 2
 - ◆ 移行期間に留意しておきたいポイント / 金森 強 (文教大学教授) 4
 - ◆ 読むこと・書くことの指導について / 泉 恵美子 (京都教育大学教授) 6
- ◎ 英語学習で役立つコンテンツ 8
- ◎ 心を伝える Classroom English (2) / 福田 スティーブ利久 (文教大学准教授) 9
- 国際色豊かな地域で、多様性を活かした授業を / 横須賀市立諏訪小学校 10
- 異文化間協働活動の実践 / 大谷 哲也 (尾道市立日比崎小学校教諭) 14
- 豊かなコミュニケーションを育むアクティビティ (2) / 遠藤恵利子 (仙台市立立山小学校教諭) 15

特集

連載

授業実践



移行期間の指導の枠組み

平成28年度末に新学習指導要領が告示され、改訂にともなう移行措置案が5月に公表されました。平成30・31年度の移行期間のための指導計画例や、そこで使われる新教材のサンプルなど、様々な情報が続々と公開されています。それらのポイントをかいつまんでご紹介します。

[編集部]

小学校中学年、高学年と 中学校の指導内容の違い

新学習指導要領における小学校3・4年生の「外国語活動」と、5・6年生の教科としての「外国語科」、また、中学校の外国語科との目標を相互に比

較すると、それぞれに求められる指導内容の違いが浮かび上がってきます。小学校高学年の「外国語科」では、3・4年生で音声を通じて慣れ親しんだ「素地」のうえに、読み・書きを含めた「基礎的な技能」を身につけて、中学校につないでいく役割が求められます。

■外国語活動(3・4年生)、外国語科(5・6年生)と中学校外国語科の目標の比較

外国語活動(3・4年生)	外国語科(5・6年生)	中学校外国語科
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、話すこと</u> の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする</u> コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる <u>実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける</u> ようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる <u>実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける</u> ようにする。
(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを <u>伝え合う力</u> の素地を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、 <u>聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力</u> を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 <u>日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力</u> を養う。
(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

※下線は編集部

移行期間における授業時数

平成30・31年度（移行期間）においては、新学習指導要領の内容の全部または一部を加えて、3年生から外国語活動を実施する必要があります。

授業時数は、3・4年生→年間15単位時間、5・6年生→年間50単位時間が標準とされています。とくに必要がある場合には、年間授業時数および総合的な学習の時間の授業時数から15単位時間までの時数を減らして、外国語活動に充てることができます。

文部科学省が配布する新教材のイメージ

文部科学省が作成している新教材（児童用冊子、教師用指導書、デジタル教材）の完成版の送付は来

年2月に予定されていますが、その内容は今年9月～来年1月にかけて順次データが公開・共有される見込みです。7月末現在、各学年の「年間指導計画例案・活動例案（暫定版）」や、「児童用冊子・指導書（編集原稿・暫定版）」の各学年1単元ずつの見本などが公開されています。また、教員研修を円滑に行うための『研修ガイドブック』については全編が公開されており、関連する音声についても、文科省のYouTubeサイトmextchannelで順次公開されていく見込みです。

新教材は、各学年1冊で、どの学年も9単元で構成される見込みです。3・4年生用は1単元が基本的に4ページ構成で、『Hi, Friends!』とよく似た形式です。5・6年生用の新教材で予定されている内容のうち、以下の表に示すものは『Hi, Friends!』では扱われていない内容であり、移行措置のなかで必ず扱うことが求められる内容です。

■新教材の内容【5年生】文字や語句の読み・書きのほか、第三者の紹介（代名詞 he, she を使用）が新内容です。

単元	題材	主な新内容
1	アルファベットの文字・自己紹介	★活字体の大文字
2	行事・誕生日	★活字体の大文字の書き方
3	学校生活・教科・職業	★活字体の小文字
4	一日の生活	★活字体の小文字の書き方
5	できること	★文字の音に気付く ★第三者を紹介する
6	行ってみたい国や地域	—
7	位置と場所	★活字体の文字とその音に慣れ親しむ ★簡単な語句を読み、書き写す
8	料理・値段	★丁寧な表現を使って依頼したり応じたりする
9	あこがれの人	★その場で考えながらやり取りをする

■新教材の内容【6年生】語順や語と語の区切りに注意したり、過去の表現を活用したりする必要があります。

単元	題材	主な新内容
1	自己紹介	★まとまりのある話を聞いて概要をとらえる
2	日本文化	—
3	世界で活躍する日本人	★語順や、日本語の語順との違いに気付く
4	住んでいる町・地域の将来	★語と語の区切りに注意して書き写す
5	夏休みの思い出	★過去の表し方を知り、過去のことを伝え合う
6	オリンピック・パラリンピック	—
7	小学校6年間の思い出	★過去のことを伝え合う
8	職業・将来の夢	—
9	中学校生活	★中学校でやりたいことを伝え合う

※新教材の内容は、文部科学省における今後の検討の過程で変更される可能性があります。

※新学習指導要領の概要や、現行との詳細な比較対照については、こちらをご覧ください。

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/gaikokugo/document/ducu1/doc101/ncos-08eig029-00.html>

移行期間に 留意しておきたいポイント

小学校3年から6年までの4年間を通して育む教育の全体像を押さえた上で各学年にふさわしい指導を準備することが大切になります。また、移行期間の特殊な条件に応じた各自治体の取り組みとして留意しなければならないこともあるようです。大切となるいくつかのポイントを考えてみましょう。



かなもり つよし
金森 強

文教大学教育学部教授

●
第四期中教審外国語専門部会専門委員、
中学校英語教科書『ONE WORLD』(教育出版)著者。
日本児童英語教育学会理事、
日本英語音声学会理事ほか。
小学生への指導経験を踏まえ
教材開発と全国各地での指導にあたる。
著書に『小学校の英語教育』(教育出版)
『小学校外国語活動の進め方』(成美堂)ほか。

中学年の指導

高学年で教科化される「外国語科」が注目されていますが、初めての外国語・外国文化との出会いの時間となるのは、3・4年生の「外国語活動」においてです。外国語を学ぶことへの動機づけの機会として、また、開かれた心を育む国際理解教育の一環としての「外国語活動」は、たいへん重要です。高学年の「外国語科」の前倒しではなく、「外国語活動」の目的やねらいを十分に達成させることが肝心です。(小学校学習指導要領 第4章 外国語活動 第1目標 から抜粋)

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いた話したりして自分の考えや気持ちなどを伝

え合う力の素地を養う。

- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(下線は筆者)

特に、下線部分は、中学年だけにおかれているものではなく、高学年では「他者に配慮しながら、…」、また、中学校でも「聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う」という表現で示されており、英語教育全体を通して大切にすべき点であることが伺えます。中学年の段階では目の前の相手を意識しながら、目的や見通しをもったコミュニケーション活動の実施が期待されていることが分かります。そのためにふさわしい教材や指導方法が選ばれなければなりません。

週1時間しかない「外国語活動」ですが、その目標にふさわしい指導が行われれば、高学年、中学校への学びにつながる有意義な時間となるはずで

「外国語活動」を通して育まれる様々な気付きや学習ストラテジーは、生涯を通して外国語を自律的に学び続けることができる重要な素地を育むことにつながるからです。一方、この段階で外国語を学ぶことに対する苦手意識が育ってしまえば、その後の学習にとって大きなマイナスにしかありません。授業時数や発達段階にふさわしい無理のない丁寧な指導が望まれます。各地方自治体においては、「外国語活動」を指導する学級担任のための十分な教員研修の実施が必要となります。

「やり取り」と「発表」

今回の改訂では、「話すこと」を「やり取り」と「発表」の2つの領域に分け、「外国語活動」で3領域、「外国語科」では5領域にわたる能力育成を進めることが記されています。このことは、今後の英語教育改革を進める重要な鍵になると考えられます。

「話すこと [やり取り]」においては、覚えたことを一方的に話すのではなく、相手に応じて質問をしたり答えたりする活動を通して、「伝え合う」能力を育成することが期待されます。中学校、高等学校と学年が上がるにつれて「即興」でやり取りをすることが増えてくることになります。この力をつけるために、小学生のうちからやっておくべきことがあるはずですが、繰り返し何度も言わせるようなドリル活動に留めておいてよいわけはありません。“型を徹底的に作ることが大切”という考えもあるようですが、自分の思いや考えが入らない繰り返し練習だけでは授業も楽しくなくなるはずですが。

音声指導の充実を

「話すこと [発表]」では、身近なことについて実物やイラスト・写真等を使いながら、自分の考えや気持ちを伝える言語活動が求められます。Show & Tellのような活動を通して、聞き手を意識した発表能力の育成が求められます。そのための活動や教

材が準備されなければなりません。スピーチには聞き手が必要です。話し手の指導だけではなく、よき“聴き手”に育てるための指導も必要となることは当然です。

教科化に伴って注目されがちな文字指導ですが、前提となる音声指導の充実こそが移行期間に取り組むべきことといえるでしょう。十分な音声指導なくして充実した文字指導はありません。

文字を用いた指導

今回の改訂で、中学年から文字に触れる機会が与えられることになりましたが、文部科学省が作成している補助教材では、聞こえてきたアルファベットを指さしたり、示しているイラストと線で結んだりする程度の活動が紹介されています。高学年においても、4線の上になぞり書きをしたり写して書いたりすることまでしか求められていません。過剰な文字指導の取り組みは控えるべきでしょう。

指導する側が音声指導が苦手であったり十分な教材の準備ができていなかったりすると、文字を用いた指導に逃げてしまいがちです。多くを与えすぎると英語への苦手意識を助長しかねません。十分な注意が必要です。

評価の在り方

評価の3観点：①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、に応じた評価が求められるはずですが、具体的な評価規準や評価方法については、文部科学省が作成している補助教材に示される情報を待つしかありません。「知識・技能」と「思考・判断・表現」の規準の違いについては特に注意をしながら見る必要があります。

大切となるのは、中学校以降の英語学習につながる形成的な評価にすることができるかどうかです。自己評価活動等を用いた、振り返り活動の充実が必要となります。

読むこと・書くことの 指導について

新学習指導要領における高学年の教科「外国語科」では、これまで「外国語活動」で扱ってきた「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」の指導と評価が入ってきます。音声を中心とした活動のなかで十分に慣れ親しんできた単語や表現を、どのように読む・書くにつなげていけばよいのでしょうか。アルファベットの指導も含め、小学校英語における望ましい文字指導について考えてみましょう。



いづみ えみ こ
泉 恵美子

京都教育大学教育学部教授

●
中学校英語教科書『ONE WORLD』（教育出版）著者。
日本児童英語教育学会副会長。
関西英語教育学会副会長。
小学校英語教育学会理事ほか。
教員養成・教員研修に広く携わる。
編著書に、『続 小学校英語活動アイデアバンク』
『英語授業改善への提言』（以上、教育出版）
『小学校英語教育入門』（研究社）
『英語スピーキング指導ハンドブック』（大修館）ほか。

新学習指導要領における文字指導と留意点

新学習指導要領の「外国語科」における読むこと、書くことに関する主な記述内容を抜粋してみます。

外国語科の目標は、「外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。」「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。」とあります（下線は筆者、以下同様）。

また、英語の目標としては、読むことでは、活字

体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにすること、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにすることが求められ、書くことでは、大文字、小文字を活字体で書くことができるようにすること、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにすること、自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにすることが求められています。

活動としては、掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得たり、簡単な語句や基本的な表現を絵本などの中から識別したり、文字の読み方が発音されるのを聞いて、大文字、小文字を書いたり、相手に伝えるなどの目的を持って、語と語の区切りに注意して、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、例の中から言葉を選んで書く活動などが含まれています。

「外国語活動」では、文字については、「児童の学

習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションを補助するものとして取り扱うこと」となっています。文字の読み方に親しませ、アルファベットの名称を聞いて、文字を指したり、発音された順に文字カードを並べ替えたり線でつないだりして、読み方と文字を一致させる活動をしたり、文字の形を指で作ったり仲間分けをするなど、普段から身の周りの英語に気付かせたりしながら、児童が文字に親しみ、興味・関心が高まるよう、文字を題材とした多様な活動を経験させておくことが必要です。外国語活動での文字との出会いや文字を用いた楽しい体験が、外国語の読み書きにつながります。

次に、文字指導では、大量の良質なインプットなどで英語の音に十分に親しませておくことが大切です。高学年では音を文字につなげる活動や、音声で慣れ親しんだ内容で書かれた英文の意味をとらえたり、自己表現の手段として、英語の語句や表現を書き写したりといった段階を踏んだ丁寧な指導を行うことが必要です。また、文字が入ると児童の個人差が広がり、苦手意識を感じる児童も出てきますので、個々の児童に対応した支援が不可欠です。

文字指導におけるバランスト・アプローチ

文字指導には、大きく分けて2つのアプローチがあり、その両方をバランスよく行うことが望まれます。1つは、ボトムアップ的に、音と文字をつなげて音素・音韻認識を高める方法です。例えば、『Hi, friends! Plus』や新教材にはAからZまでのアルファベットの文字の名称と、aからzまでの音とその音を含む単語を、食べ物や動物などをテーマに集めて、リズムに乗って繰り返し発音(A /ei/, a /æ/, a, ant など) させるアルファベット・ジングルという活動があります。楽しく何度も繰り返しながら、英語特有の音に気付き文字と結び付けることができるようになります。それにより、CVC (子音・母音・子音) などの3文字単語 (例: cat, dog) などが、読めるようになります。

もう1つは、歌や絵本、ストーリーなど、まとまった意味のある英語を聞かせて内容理解を促すトップ

ダウン的な方法です。児童はあいまいさに耐えながら、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを聞き、絵や先生が用いるジェスチャーや既知の単語などから全体を推測する力が備わっています。また、何度も繰り返し聞くうちに、音を頼りに自分で読もうとします。さらに、先生の音読に合わせて、文字を指しながら拾い読みをしたり、ペアで一緒に読んだりすることを通して、次第に一人で読める自立した読み手に成長します。アルファベットから、文字をつなげて音と意味をもつ語になり、語を並べると文になります。また読めるようになった語や文を書き写したりもできるようになります。自ら読もうとしたり、書こうとしたりする態度を育成することが重要です。どんどん読めるようになる実感が生まれれば読むことが楽しくなります。絵から次第に文字が大きくなる仕掛けのカードや、音と文字と意味につながるようなデジタル・ICT教材などの教具や環境を整えることも大切です。文科省の5・6年生用の新教材にもストーリータイムというコーナーが各単元に盛り込まれています。

自己表現のためのライティング

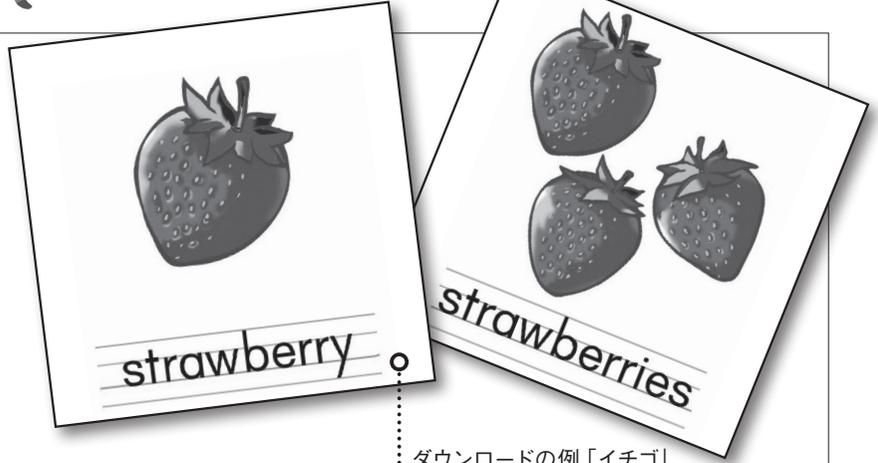
英語を書くのは時間がかかり、難しく感じる児童もいます。4線の上に書く場合、特に小文字は高さが異なりますので、2階、1階、地下などと呼んだりしながら、大文字・小文字を識別して書く練習をさせます。文頭は大文字で始めることや、単語ごとに間隔を取ること、終止符や疑問符、コンマ等基本的な符号の決まりもあり、きめ細かな指導が必要です。音を伴わずに単に文字や語を書かせるペンマンシップは避けたいものです。自分に関連した、目的と意味ある楽しい活動の中で、モデルを示し、それらを読ませてから自分のことを書かせます。例えば自己紹介の際に必要な応じて内容を選択して英語を書かせ (例: Hello. My name is.... I like.... I can.... I want to go to....), それらを用いてコミュニケーションを行うなど、読んだり書いたりすることが有益であることに気付かせることが大切です。



英語学習で
役立つ
コンテンツ

WHAT'S NEW

授業で使える
絵カード



ダウンロードの例「イチゴ」

[Webで公開中です!]



教育出版 小学校英語

検索

英語学習に役立つコンテンツを
ダウンロードできます

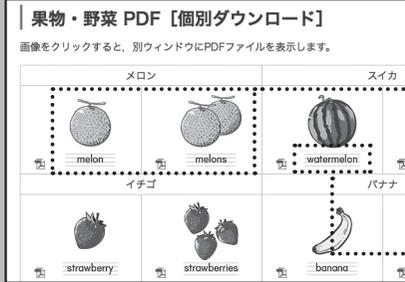
「教育出版」の「小学校英語」ページ

↓
「実践に役立つ資料集・コラム」

↓
「ワークシート・絵カード」

↓
「絵カード(単語カード)」

↓
からダウンロード!



Point: 1 絵カードのPDFは【一括】と【個別】からダウンロードできます

Point: 2 【果物・野菜】は単数形と複数形の2種類あります

Point: 3 4線上に英単語を示しています



ココも Check!

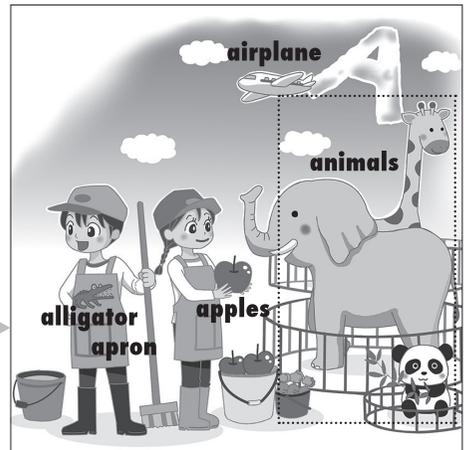
表紙の絵から英単語を探してみましょう

Question

表紙の絵には、A から始まる内容の語が描かれています。どんな語が隠れているか探してみましょう。

Answer

apron, alligator, apples, airplane, animals (elephant, giraffe, panda)



心を伝える Classroom English

Classroom English (教室英語)は「人と人とをつなげる」コミュニケーション・ツールです。伝えるために大切なのは、正確な発音よりも、気持ちを込めることです。イントネーションや声、顔、身体表現にも工夫が必要です。Classroom Englishを上手にを使って、児童とのコミュニケーションを深めましょう。



福田 スティーブ利久
文教大学教育学部准教授

第2回

授業開始からの
コミュニケーション

コミュニケーション力の向上を目指す「外国語」「外国語活動」の授業では、授業の始まりの合図から教師が数多くのコミュニケーションのきっかけを作りたいですね。

おさえておきたい定番フレーズ

授業のスタートに欠かせない挨拶の中でも、Good morning, everyone. (おはよう, みんな。) Let's begin the English class. (さあ, 英語の授業を始めよう。) は定番中の定番。この後に、How are you? What day is it today? (今日は何曜日?) How's the weather today? (今日の天気は?) などの定番フレーズを児童とやり取りし、毎回の授業で疑似コミュニケーションの体験を繰り返していきます。身近な英語の表現に慣れ親しませながら、児童に気分・曜日・天気などに関わる語彙・表現の定着を促したいところです。

真のコミュニケーション体験はここから

先生が How are you? と投げかけた後に、Who is [hungry/sleepy]? ([お腹が空いている/眠い] 人はいますか?) のような質問であれば、すぐに理解して手を挙げられる児童は多いでしょう。一方で、先生が What time did you [eat

breakfast/go to bed]? (何時に [朝食を食べ/寝] ましたか?) のような質問を投げかけた場合は、児童はなかなか答えられないことも多いでしょう。そのような場合、まず先生が (I ate) at 7 . (I went to bed) at 10 p.m. というような回答のモデルを示した後に順次指名していくと、児童も答えやすくなり、自分のことを伝えてみたい気持ちを引き出すことができるでしょう。

★ワンポイント・レッスン

号令に「注目」を入れる学校が少し前に話題になりました。「起立→(注目→)礼→着席」を単純に訳すと Stand up → (Attention →) Bow → Sit down となりますが、まるで軍隊のようだと ALT が驚くことがあるそうです。

コミュニケーションの場である授業だからこそ、次のような号令はいかがでしょうか。

Please stand up. (立ち上がってください。)

Are we ready? (準備はできましたか?)

(全員) Yes.

Let's start. (始めましょう。)

Please sit down. (座ってください。)



Steve T. Fukuda
日米の両方で教育を受ける。高校教員を経て、教員養成に携わるために大学の教員となる。モットーは「思いやり」と「恩送り」。



国際色豊かな地域で、 多様性を活かした授業を

—読み書きとコミュニケーションをつなげる取り組み—

■神奈川県横須賀市立諏訪小学校の実践

平成27年度から「英語教育強化地域拠点事業」として、横須賀市立の4校（諏訪小学校を含む小学校2校、中学校1校、高校1校）が文科省から指定を受けています。今年度、諏訪小学校では低学年で10時間、中学年で35時間の「外国語活動」、高学年で70時間の「外国語」の授業を行っており、既に新学習指導要領の内容を想定した年間指導計画を作成し、取り組みを進めています。今秋に開催される実践研究成果発表会に先立ち、諏訪小学校の外国語の授業の様子をレポートします。

英語力の差が大きいクラスでの指導の工夫

米軍基地が校区内にあることもあり、諏訪小学校の6年生のクラスには、外国とつながりのある児童が3分の1ほど在籍しています。英語が第一言語の児童には、簡単なレベルの英語を使う授業でも興味をもてるように、皆のお手本になってもらい積極的に授業に引き入れているのだそうです。一方で、英語が苦手な児童もあり、そのバランスをとるために、様々な工夫がなされていました。それでは、実際の授業の様子をご紹介します。

児童が目的意識をもって取り組める 授業のしくみ

児童数25名の6年2組の授業では、JTE（日本人専科教員）の羽田あずさ教諭、HRT（学級担任）の堀内共生教諭、フィリピン出身のALT（外国語指導助手）のジュリウス・リゴン先生の3人によるチーム・ティーチングが行われました。

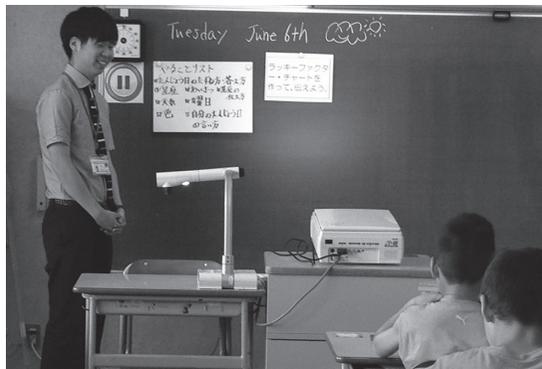
単元名は「誕生日を知って、ラッキーファクターを伝えよう～フォーチュン・テリング～」(全7時間)で、英語が得意な児童はもちろん、苦手な児童でも興味を失わないで楽しめるように、「占い」を通じたコミュニケーションを目的とした活動を設定。児童は前時までに、誕生日の尋ね方や答え方、星座早見表作り（各月の頭文字をなぞり書き）などを学んでいます。5時間目の本時の目標は、「ラッキーファ

クター・チャートを作って、伝えよう」。まず挨拶から授業をスタート。毎回のルーティンとして当日の曜日・日にち・天気を見事に確認したうえで、HRTが本時の目標とやることリストを黒板に示して、児童と確認します。

誕生日の尋ね方と答え方を振り返る

前時の振り返りとしてHRTは、児童に「この前、誕生日の尋ね方を習ったね。覚えている?」「When is your birthday?」「星座の答え方は?」「Your sign is ...」と復習します。「それでは、ジュリウス先生と一緒にやってみよう。先生の星座を探すよ。この間作った星座早見表を見てごらん」と気さくに話しかけます。

ロールプレイでは、「When is your birthday?」と児童全員で誕生日を尋ね、「My birthday is March 25th.」とよく通る声でALTが答えます。



学習者の目線で安心感を与える HRT の堀内教諭

その星座を星座早見表から児童が探します。HRTは、「ジュリウス先生の星座をちゃんと確認できたら、手を挙げて！手が挙がっていない子には、隣の人が教えてあげてください」と理解状況を確認しながら進めます。“Your sign is おひつじ座 (Aries).”と星座を児童が伝えると、“Oh! Thank you!”と返すALT。「前は、こんなふうに星座を探して、伝えられるようになったね。何のためでしたか？」と質問するHRTに、「占い！」と元気な声が返ってきました。次にHRTは、「そう、あと残りは色・曜日・天気。それを相手に伝えられるようにしよう。今日はそのためのチャートを作ります」と、本時の目標を意識させつつ、次の活動の指示をしました。

英語らしい発音に慣れ親しみながら、 語句を確認

続いて、JTEがラッキーファクターの英語表現を発音します。黄色のカードを指して、“What color is this?”と質問すると、児童から一斉に“yellow”と返ってきます。次はオレンジ色のカードを指すと、日本語で「オレンジ」と返ってきました。「オレンジ？」とJTEが聞き返すと、“orange”や「オレンジ」と様々な発音が飛び交います。JTEは、“S君、How do you say this in English?”とお手本役のS君に質問。皆が注目する中、“orange”と正しい発音をするS君を、“Very good.”としっかり評価します。次に天気の絵カードをもとに、児童に質問します。“sunny”, “cloudy”と進み、“rainy”は、S君が /r/ の発音を含めてきれいに発音しました。さらにJTEが“How is the weather? Heavy rain and strong wind.”と皆に質問すると、“hurricane”と答えた児童がいます。JTEは、“Japanese weather, please.”と伝えましたが、なかなか答えが出ません。JTEが、“You can say typhoon.”と教えると、「えっ、台風！そのまんまだね」というHRTの言葉に場が和みます。

発音はなかなか難しいため、児童の発音に対し



JTEの羽田教諭がにこやかにシートを説明する様子

てJTEはあまり厳しく正すことはせず、ひとまずALTに伝わればOKとされているとのこと。その分、ジェスチャーや表情が必要になるため、HRTがその部分をうまく引き出しているようです。

そして、元気に『The Days of the Week』の歌を歌って、既習の「曜日」をおさらいした後は、いよいよ本題のワークシートが配られました。

選べる！ 難易度別ワークシート

1つ目のアクティビティは、ラッキーファクター・チャートを作ります。2種類の難易度別ワークシートの記入方法を、JTEが説明します。

タイプAのシートは英語を書くことに自信のある児童向けで、星座別ラッキーファクター（色・曜日・天気・オリジナル要素）のうち、色と曜日を4線上に英語で書きます。タイプBのシートは書くことに自信のない児童向けで、曜日の欄のみに4線が示さ

Suwa Elementary School 6th: フォーチュン・ワーカーシート				
Sign-星座	Lucky Color-色	Lucky Day-曜日	Lucky Weather-天気	Lucky ()
Aries おひつじ座				
Taurus おうし座				
Gemini ふたご座				
Cancer かに座				
Leo しし座				
Virgo おとめ座				
Libra てんびん座				
Scorpio さそり座				
Sagittarius いて座				
Capricorn やぎ座				
Aquarius みずがめ座				
Pisces うお座				

タイプAのワークシート

れており，“*Kanji is ok, you can choose this worksheet.*”とJTEが伝えます。曜日と色の各単語はお手本シートを横に置きながら取り組める書き写しの活動であり、5年生で既習の「曜日」については全員が英語で記入、「色」は漢字やカタカナで記入しても大丈夫です。今回の授業で初めて扱った表現を含む「天気」は英語でも日本語でも、絵でもOKとしています。

教師3人によるきめ細かな個別指導

レベルに合わせて自らワークシートを選んだ児童は、前回までの授業で配られたシートを綴じてある英語ファイルを開き、既習の単語や表現、各星座の期間なども確認しながら、ラッキーファクターを真剣に書き込みます。すぐに理解できない児童は、隣の席の児童に尋ねたり、3人の先生から個別に教わったりしています。しばらくするとHRTが「あと5分です。がんばってLucky Weatherまで書き込もうね」と伝えます。

お手本のS君は、Lucky Weatherの次のオリジナル要素である“Lucky ()”までもう書き終えています。すかさず、JTEが“S君 chose Lucky Number.”と、早く進んでいる様子を皆に伝えて評価しました。HRTは、「天気まで書き終わったら、オリジナル要素も書こうね」と日本語でもアナウンスしています。「Time’s up, 途中



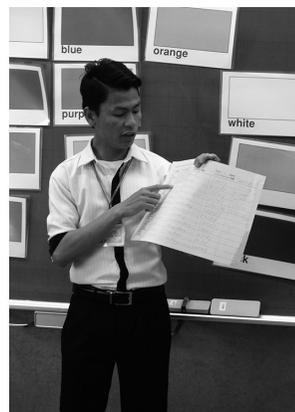
ALTとJTEが熱心に個別指導

でもいいです。ラッキーファクターできたかな？」とHRTが確認します。

次は最後のアクティビティです。HRTは、「ジュリウス先生に、誰かのシートに書かれたおひつじ座のラッキーファク

ターを読んでもらいます。どうやって相手に伝えるのか、よく聞いてください」と指示。ALTは“*Your lucky color is red.*” “*Your lucky day is Monday.*” “*Your lucky weather is sunny.*”とサンプルの文を発話します。何人かの児童が「一緒!」「同じだ」と元気よく反応します。「今の3ファクターの言い方、分かった人いますか？」とHRT。あまり手が挙がらないと，“*Once more, please.*”とHRTが発話の繰り返しを依頼し、ALTは再び発話しました。「ちょっと分かったという人？」とHRTが質問すると、今度は、ほとんどが挙手しています。皆が理解したのを確認してから「では、おひつじ座以外も、練習しよう。今、分からなかったら手を挙げて！教えるよ」とHRTは笑顔で話しかけ、質問しやすい雰囲気を作っていました。

普段から、英語が苦手な児童には、“*Sorry?*” “*Pardon me?*”など、よく聞き取れなかったフレーズをもう一度発話してもらう英語表現を、繰り返し教えているのだそうです。



重要なフレーズを繰り返すALT

楽しみながら伝える力を伸ばす

ある男子が大声で「ラッキー・スポーツだったら、全部サッカー！」と発言しました。オリジナル要素の欄がサッカーだらけの男子からは、サッカーへの思いがよく伝わってきました。また、ある女子が、両手を顔の辺りにかざすジェスチャーをしている様子に気付いたHRTは、「見えーる、見えーる。Yさん、今、たぶん水晶玉を持っていたのかな？」と声をかけます。Yさんは、次の時間で行う占い師になりきっていて、相手に伝える発話の練習を楽しみながら取



占い師のジェスチャーをしているYさん

り組んでいたのです。

AさんとB君のそれぞれの星座を確認したHRTは、「次は、ちょっとペアでやってみようか？ それではAさんはみずがめ座、B君はやぎ座を読んであげてね」とペアのやり方を皆に伝えます。HRTは、隣が空席のC君の相手役になります。HRTの星座を確認した後に、「Your lucky weather is typhoon.」とC君がラッキーファクターを伝えると「えっ台風？ Ok!」苦笑するHRT。続けてC君は、「Your lucky sport is soccer.」とオリジナルの要素までしっかり伝えることができました。

「今日は、ラッキーファクターの伝え方、分かったね。まだ言い慣れていない人もいるから、次回もやりましょう。今日、簡単だった？」HRTが児童に尋ねると、「すごく楽しかった」とある児童は大きな声で答えていました。

最後は、振り返りシートの記入です。振り返る項目は4項目で、◎、○、△のいずれかを記入したら、本時の感想も書きます。全部◎や、オリジナルな☆マークの児童もいました。コメントを覗かせてもらうと、「ラッキーチャートが作れてうれしいです」「もうすぐ占いができそう！」など、楽しみながら授業に参加していた様子が伝わってきます。

最後にHRTが、「では、終わりです」「That's all for today.」と言うと、「Thank you, Mr. Julius and Ms. Hada. See you next time!」と児童は元気よく感謝と挨拶の言葉を伝えました。

授業者から

～ HRT 堀内教諭より～

「本校で英語教育強化地域拠点事業が始まった当初から担任をしていて、今年度で3年目になります。最初は、拒否反応が起こっていた児童もいましたが、3年かけて徐々に楽しめるようになってきたようです。手助けが必要な子には個別に声をかけて安心感を与えるように意識しながら、児童には英語を楽しませたいと思っています。」

～ JTE 羽田教諭より～

「文字の指導が、児童にとって負担ではなく、楽しく、かつ「読みたい！書きたい！」と思えるようなものになるように、音声で慣れ親しんだ英語表現や児童の興味関心を汲み取った教材開発をしています。書くことの教材は、いくつかの難易度がありますが、難易度の高いものにチャレンジする児童が多いことから、意欲的に取り組んでいる様子が伺えます。」

INFORMATION

平成 27～29 年度 文部科学省委託事業「英語教育強化地域拠点事業」 外国語科・外国語活動実践研究成果発表会が開催されます。

時程予定は、次の通りです。

◎日時及び会場：平成 29 年 11 月 15 日 (水)

9:30 受付 諏訪小学校・常葉中学校

公開授業 1 “ ” “ ”

移動・休憩

公開授業 2 “ ” “ ”

12:10 移動・休憩・昼食

14:00 公開授業 3 田戸小学校

移動・休憩

15:00 全体会 研究報告／各校研究主任

講評／神奈川県教委 後藤博宣指導主事

講演 (60 分)／文教大学 金森 強教授

異文化間協働活動の実践

■大谷 哲也 (広島県尾道市立日比崎小学校)

本校は、平成22～24年度に文部科学省の研究開発学校の指定を受けて以来、継続的に外国語活動の研究を進めてきています。平成26年度からは台湾の嘉義市立北園國民小學との交流を続けています。この取り組みでは、これまでに学習した英語を使って、台湾に住む同年代の児童とやり取りすることができる喜びを実感させるとともに、多様なものの見方や考え方を理解させることをねらいとしています。

台湾との交流

本校では、主に5・6年生の児童が、台湾の同年代の児童と交流しています。Skypeを活用し、5年生は1学期に“I like～.”や“I can～.”を使った自己紹介、3学期には“This is～.”や“It’s～.”



日本の文化を紹介する6年生児童

を使った互いの給食紹介を行っています。6年生は2学期に、その時点までに学習した語彙や表現を使って、

互いの国の文化のよさを学び合う交流をしています。海外の児童と英語を使って互いの考えや気持ちを伝え合うことを通して、英語学習における達成感をもつことができ、学習意欲の向上につながっていると感じています。

この2年間は、北園國民小學の児童と先生が、本校を訪れています。一昨年度は7月に来られたので七夕の飾りを一緒に作り、昨年度は北園國民小學の先生とT.T.で授業を行い、両校で学習している語彙や表現を使ってゲームをしました。英語を通して同じ活動ができ、短い時間でしたが、児童が相手と心を通わせているように感じました。

台湾との交流を通して、課題も見えてきました。それは、相手が話したことに「反応する」ことです。

本校の児童は、自分が話したい内容をより分かりやすく伝えようと主体的に学習に取り組み、相手を意識して話しているのですが、相手が話した内容に“Nice.”や“Good.”などの言葉を使って自然に反応することができませんでした。海外と交流するというので、「話す」ことばかり気にして指導していたのかもしれませんが。互いに気持ちのよいやり取りができるように、普通の授業で友達や先生が言ったことに反応するように指導するなど、各学年で系統的に力を付けていきたいと思います。

留学生・ALTとの交流

本校は、5年生の野外活動で、「日比崎英語村」を実施しています。昨年度は、この授業で材料や調理器具、調理に関する動作の言い方に慣れ親しみ、尾道市内のALTと一緒にカレーを作りました。また、毎年9月には「留学生・ALTとの交流会」を行い、4～6年生の児童が参加しています。このように、授業だけでなく、授業で学習したことを生かせる場もつくるようにしています。

これからの取り組み

本年度は、「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」の研修協力校の指定を受け、教科化に向けてのカリキュラムの作成や単元開発等について研究を進め、実践しています。台湾との交流は、これまでは主に5・6年生で実施していましたが、本年度は、交流する期間を見直して、3年生がカード、

4年生がビデオレターを送るといった長期的な取り組みとなるよう計画しています。



自己紹介をする5年生児童



イラスト・田村敬子

連載

豊かなコミュニケーションを育むアクティビティ
学級作りにもつながるおすすめを紹介します

【第2回】

“How are you?” Greeting

—挨拶＋既習表現を使った質問で、楽しく授業をスタート—

■遠藤恵利子（仙台市立向山小学校）



既習事項を使って心寄せる挨拶を！

今回は“How are you?”で始まる挨拶活動を紹介합니다。子ども自身が相手にたずねてみたいことを，“How are you?”の後に既習の表現を使って付け加えます。既習事項を生かす視点と，相手に心を寄せて互いを知るという相手意識を育む一助に位置付けています。子どもが「外国語活動」マインドにスイッチオンする瞬間でもあります。

“How are you?” Greeting

▼進め方

- ① ALT/HRT とボランティアの子どもが“How are you?” Greeting の実演例を示します。
A: How are you, Taro?
B: I'm happy [sleepy].
A: Oh, good [bad]. What snack do you like?
B: I like chocolate.
A: Oh, chocolate! Me, too. (A と B は交互にたずね合う) Thank you. See you.
- ② HRT が“Let's greet!”と言い，子どもたちが“How many people?”とたずねます。実演した子どもが“Two people, one boy and one girl.”などと挨拶する人数を指定します。
- ③ 進んで相手を見つけてペアを作り，①のように挨拶します。言葉や顔の表情，さらに心の表情が相手に伝わるような活動をめざします。やりとりが済んだら，次のペアを作って同様に行います。②で指示された人数と挨拶ができたなら座席に戻ります。

友だちと触れ合える挨拶からスタート

本校では現在1年生から外国語活動を実施していますので，“How are you?”の後に質問を加えることは中学年でも行えます。高学年では，使える表現がさらに増えます。以下のような既習表現を教師が積極的に実演で取り入れて展開します。

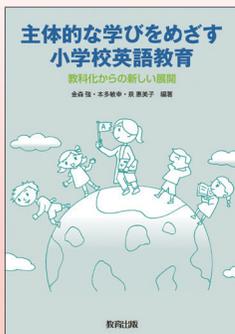
- Do you like bananas [tomatoes / soccer /...] ?
- What color [shape / subject / TV program /...] do you like?
- When is your birthday?
- Where do you want to go?



教師が使わせたい表現を示すときもありますが，子どもが使う表現は自由に選ばせます。ドリル活動ではなく，子ども自身が使ってみたい表現や相手にたずねてみたいことを尊重し，相手への興味・関心や英語表現への関心に合わせて挨拶させます。これは，ほぼ毎回の授業の最初に行います。

わずか数分ですが，“Oh, nice!”“Me, too!”“Great!”などの「コミュニケーション・マジック・ワーズ」（本校で作成，タイトル脇イラスト参照）を使い，相手への返答に簡単なリアクションを加えて対話します。これにより，子どもは笑顔で授業をスタートできます。

この挨拶活動によって，子どもは①自分の使いたい英語表現を使える安心感，②学習した英語を使って通じ合えた達成感，③ふだんと違う友だちと関われる楽しさと新しい発見——などを体験的に感じていきます。



主体的な学びをめざす 小学校英語教育

—教科化からの新しい展開—

小学校英語の教科化を踏まえ、「主体的な学び」をキーワードに、具体的な展開の仕方を提示する。

金森 強・本多敏幸・泉 恵美子 編著
A5判 / 216 ページ / 定価：本体 2,400 円＋税



Q&A 小学英語 指導法事典

教師の質問 112 に答える

小学校英語の教科化に向けた教師たちの質問や悩みに、理論と実践の両面から答える。

好評『Q&A 中学英語指導法事典』の小学校版。

樋口忠彦・高橋 一幸・加賀田哲也・泉 恵美子 編著
A5判 / 288 ページ / 定価：本体 2,800 円＋税



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 TEL: 03-3238-6965
<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp> FAX: 03-3238-6999

こちらから
弊社サイトに
アクセスできます。



Smiles

◎あとがき

平成 32 年度からの新課程に向けて、文部科学省から次々と小学校外国語活動・外国語に関する情報が発信されています。特に新課程への移行期である平成 30・31 年度は、現場の先生方が取り組む研修機会も新たな指導事項も増え、負担感も不安も大きいことと思いますが、平成 32 年度に向けて着実に歩を進めていけるよう、わたしたちもサポートしていけたらと考えています。

教育出版英語編集部

小学英語通信 ONE WORLD 小学校英語応援マガジン Smiles [2017年 秋号] 2017年8月31日 発行

編集：教育出版株式会社編集局

発行：教育出版株式会社 代表者：山崎富士雄

表紙イラスト：クドウあや

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

電話 03-3238-6864(内容について) 03-3238-6901(配達について)

URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- 北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル6F
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
- 函館営業所 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング3F
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
- 東北支社 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル7F
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
- 中部支社 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル5F
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
- 関西支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル7F
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
- 中国支社 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2
あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル5F
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
- 四国支社 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル5F
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
- 九州支社 〒812-0007 福岡市博多区東恵比寿2-11-30 クレセント東福岡 E室
TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
- 沖縄営業所 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル3F
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411